

令和元年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	鹿屋市アジア・太平洋農村研修村民族館
所在地	鹿屋市上高隈町3779番地1
指定管理者	名称： <u>大隅湖観光管理組合</u> 代表者： <u>岡本 孝志</u> 住所： <u>鹿屋市上高隈町1910番地3</u> 連絡先： <u>0994-45-2770</u>
モニタリングの実施経過	●月例報告（毎月） ●事業決算の確認 ●現地調査（毎月） ●その他（指定管理者との協議）
担当部課 (問合せ先)	市長公室地域活力推進課 電話0994-43-2111 内線3552

【モニタリングの総合評価】

鹿屋市アジア・太平洋農村研修村民族館（以後：鹿屋市民族館）は、民間のノウハウを生かすために平成19年度から指定管理者制度を導入し、以降大隅湖観光管理組合が指定管理を行っている。

令和元年度は、市内外の様々なイベントへの出展や民族館のパンフレットを用いた広報を行ったほか、カピックセンター等と連携し、鹿屋市民族館及び周辺を活用したイベントを開催している。また、小学校への出前講座の実施や、定期的な館内の展示方法や装飾の見直しなど、来館者増に努めた。しかしながら新型コロナウイルスの影響で外出自粛による来館者数の減少や、企画イベントの中止により、対前年比年間で375人の来館者数の減少となった。今後はイベント開催・出前講座の回数を増やすといった来館者の増加に向けたさらなる取り組みが必要と思われる。

管理業務については、館内清掃につとめ、来館者がいない時は館内の展示品（楽器や民族衣装）の調整・修繕を行っている。維持管理については問題なく行われている。

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

- ・ ホームページのリニューアルやSNSを積極的に活用した広報による認知度向上に努めること
- ・ 鹿屋市民族館の周知・啓発をするため、引き続きイベントへの出展や出前講座の実施に努めること
- ・ カピックセンターや外部団体と連携したイベントの開催に努めること
- ・ 垂水千本銀杏やあじさいの観賞などの観光コースとして来館する人も増えてきているので、高隈の資源を生かしながら足を運んでいただけるようなテーマを設定する必要がある。
- ・ 所蔵品や周辺環境を活用した新しいイベントの実施

《施設所管課が実施・検討する事項》

- ・ 来館者のアンケート分析等による来館者増のための対策の検討及び指定管理者との協議
- ・ 備品の点検・管理を行うこと
- ・ 関係団体と連携して、市内外で鹿屋市民族館の周知・啓発に努めること

(1) 基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

① 合目的性・公平性・効果性

鹿屋市民族館は、入館料無料の施設であり、隣接するカピックセンターと共に、国際交流の拠点として位置づけられている。異文化体験の場として、民族楽器等の展示品に触れ、民族衣装を試着できる特徴的な運営を行うほか、学校等への所蔵品を活用した出前講座の実施等により国際性豊かな人材育成に寄与している。

(2) 業務内容

① 機能性・独創性（事業への具体的な取り組み方）

○事故件数は0件であり、また市民からの苦情は寄せられていない。

○異文化体験

アジアの民族衣装の試着体験や各国の玩具遊び体験、民族楽器を演奏することを通じて、来館者に異文化を体験してもらう。

○イベントの実施について（令和元年度）

イベント名	実施時期	来館者	実施内容
高峠つつじスタンプラリー	4/20(土) ～ 5/12(日)	690人	カピックセンターとの共同事業。高峠つつじ公園でスタンプラリーを掲載したチラシを観光客に配布。民族館、カピックセンターを周遊してもらい、抽選会を行った。
丸山 茂樹民族楽器ライブ	5/14(木)	29人	東京在住の丸山茂樹氏の、一ヶ月毎日ライブツアーの会場として民族館を選んでいただき、民族楽器を使ったライブを行った。
Rufty Softy ライフ & ワークショップ	8/4(日)	30人	アイルランド民謡・スコットランド民謡奏者である Rufty Softy ライフ&ワークショップによるライブの実施。
兵法タイ捨流演武	8/21(水)	73人	熊本県八代市に伝わる剣術で、兵法タイ捨流道場龍泉館館長山本隆博氏を招き、剣術を披露してもらった。 2回目の実施であったが、外国人の方に非常に好評であった。
大隅レイクサイドフェスティバル	10/19(土)	753人	大隅レイクサイドフェスティバル等の実施に合わせ、民族館は開館時間を延長して対応した。
千本いちょうスタンプラリー	11/24(土) ～ 12/9(日)	360人	カピックセンターとの共同事業。垂水市の千本いちょうでスタンプラリーを掲載したチラシを観光客に配布。民族館、カピックセンターを周遊してもらい、最後はカピックセンターで抽選会を行った。
クリスマスイベント	12月22日(日)	58人	民族館の来館者がクリスマスソングを演奏するイベント。親子バンド、高校生バンド、バイオリン奏者などが演奏した。 また、クリスマスボトルのクラフト体験も同時に開催した。
7回		1,993人	

※3月実施予定の「大隅レイクサイドミーティング、「センターフェスタ世界の味めぐり」は、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

○ 出展事業

民族館の周知活動を目的として、市内外のイベントに鹿屋市民族館の楽器や衣装、玩具等を展示し、イベント来場者に楽器の試奏や民族衣装の試着を体験する機会を設けた。
あわせて、チラシ配布も行い、来館者増に努めた。

イベント名	日時	場所	人数
花鳥風月ミーティング	5/18 (土)	都城市 観音池公園	53人
あすばるマルシェ	7/21 (日)	アスパル大崎	32人
ボランティアフェスタ	10/19 (土)	リナシティ2F ギャラリー	96人
世界ワクワクまるごとフェスタ	10/20 (日)	リナシティ2F ギャラリー	288人
鹿屋市秋祭り歩行者天国	10/27 (日)	鹿屋市北田町交差点	61人
あすばるマルシェ	1/19 (日)	アスパル大崎	32人
産業フェスタ	2/9 (日)	リナシティ2F ギャラリー	108人
7回			670人

○ 支援事業

外部の要請に応じ学校や公民館、町内会等に出向し、異文化体験、異文化理解プログラムの実施、民族館の広報活動を行った。パンフレットの配布を行う事で来館者増に向けた取組みを実施した。

事業名	内容	成果
団体向け講座プログラム	鹿屋市内の各施設にて行われる各種講座へ講師として出向する	民族館の新しい使い方の提案ができ、新規の来館者を獲得できた。
出前講座 「馬頭琴試奏体験」	鹿屋市内の要望があった小学校を対象に馬頭琴を用いモンゴルという国や風土、人々の生活や習慣、馬頭琴の成り立ちなどを話し、生徒に馬頭琴を体験してもらう。	児童全員に馬頭琴を弾いてもらい民族楽器に触れる面白さを周知できた。 また、他の国の民族楽器の話や文化や習慣、日本との繋がりなどの話も興味を持ってもらい後日の来館に繋がった。 6学校 291人

② 責任性・実行性 (施設の運営体制や組織)

地域住民やカピックセンターと連絡を図りながら、大隅湖観光管理組合の組織体制の下、管理運営責任者1人と職員1人、パート職員の2人を配置し、常時2人以上で来館者に対応できる体制を整えている。

③ 明瞭性・規律性 (適正な事務や経理)

月例報告書や年間実績報告書については、期間内に提出されている。経理事務に関しても、専任の会計担当者をあて適正に行われている。

④ 安全性 (安全管理・緊急時等の対応)

身障者や高齢者が来館の際は、玄関前まで自動車の乗り降りができるよう配慮している。
管理責任者や職員が定期的に施設内外のパトロールなども行っている。
来館者の多い時期やイベント出店時には、3人体制をとり、来館者の安全対策を図っている。
災害などの緊急時には、関係機関へ速やかに連絡できる体制が整っている。

⑤ 社会性 (環境等への配慮)

施設内外の定期的な清掃、節電を心掛けるなど環境へ配慮した施設運営を行っている。

(3) 事業収支
① 経済性
アジア雑貨販売、喫茶コーナー、ビーズ作り体験などの提供により来場者の満足度向上に務めるとともに、収益事業にも取り組んでいる。
(4) 団体の経営状態
① 経営の健全性
鹿屋市民族館の収入については、指定管理料と収入確保の取り組みとして各種サービスを行い、支出についても概ね計画どおり実施されている。

施設概要調書

1 施設の概要

施設名	鹿屋市アジア・太平洋農村研修村民族館		所管課：地域活力推進課	
所在地	鹿屋市上高隈町3779番地1		設置年月日：平成9年4月1日	
設置目的	市民に異文化体験の場を提供し、国際感覚の醸成と内外交流の増進を図り、地域国際化の進展に寄与する。			
設置の根拠 (法令、条例等)	鹿屋市アジア・太平洋農村研修村民族館条例			
施設の概要	設備の概要	敷地面積16,751.00 (㎡)		
		延床面積 434.60 (㎡)		
		《有料》		
		内 容	料 金	
		ビーズアクセサリ作り	館内作成 100円 作成キット 150円 購入 200円	
		世界の珈琲 喫茶コーナー	珈琲 250円 紅茶 250円 ごぼう茶 250円 芋スイーツ 300円 ジュース 150円	
世界の雑貨販売	商品による 100円～			
	楽器のキット、スライムづくり など	体験料150円～		
	《無料》 入館料は無料			
事業概要	(1) 通年事業等：観光、研修等の多目的使用 (2) 定期イベント等			

2 経営分析評価指標

① 事業収支	▲320千円	④ 外部委託費比率	5.9%
② 利用料金比率	—	⑤ 利用者あたり管理運営コスト	1,385円
③ 人件費比率	60.2%	⑥ 利用者あたり自治体負担コスト	1,266円

※ 少数点第2位四捨五入

3 運営状況

項 目	実施計画（事業計画書より）	実施内容（実績）
開館日数	310日	305日
開館時間	午前9時から午後5時	午前9時から午後5時
事業開催	<p>① 広報事業 民族館を多くの方に知ってもらうことにより来館者を増やす。</p> <p>② イベント事業 定期的にイベントを実施しリピーターを増やすとともに来館者の国際交流の意識向上を図る。</p> <p>③ 有料サービス事業 来館者が管内でゆっくりとくつろげ、満足度を上げるために実施。</p> <p>④ 支援事業 民族館を周知してもらうために、学校や国際支援団体へ民族館を活用して国際理解・国際交流や福祉につながる支援を実施する。</p>	<p>① 広報活動 ◎イベント出展による広報 ◎体験演奏出前講座による広報 ◎フェイスブックによる広報</p> <p>② イベントの実施 ◎スタンプラリーの実施（春・秋） ◎クリスマスイベントの実施 ◎馬頭琴を使った体験プログラム ◎日本文化披露 ◎カピックセンターと共同イベントの開催</p> <p>③ 有料サービス ◎ビーズアクセサリ作り ◎珈琲等の提供 ◎世界の雑貨販売</p> <p>④ 支援プログラム ◎学校訪問による民族楽器試奏体験 ◎幼稚園、学校、福祉施設、個人サークル等の団体に民族衣装の試着や世界のダンス、展示品クイズなどのプログラムを実施。</p>

4 利用実績

項 目		実施内容（実績）
市 内	大人	1,929 人
	子供	1,327 人
市 外	大人	2,708 人
	子供	1,236 人
合 計		7,200 人

5 事業収支

(単位：千円)

項目	実施計画 (事業計画書より)	実施内容 (実績)
委託料	8,364	9,116
サービス料収入	1,000	535
その他収入	0	1
収入計 (A)	9,364	9,652
人件費	4,920	6,000
光熱水費	960	1,067
通信運搬費	140	109
宣伝広告費	0	0
修繕費	50	56
管理費	1,505	1,440
消耗品費	150	296
事業支出	500	404
保険料	0	0
委託料	650	586
研修費	0	0
租税公課	427	0
雑費	62	14
支出計 (B)	9,364	9,972
収支 (A) - (B)	0	▲320

指定管理者自己評価表

令和2年5月26日

指定管理者 大隅湖観光管理組合

施設名 アジア太平洋農村研修村民族館

確認事項		自己評価
履行確認	1 協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理運営を行っているか	③・2・1
執行体制	2 人員の配置が適切であるか	③・2・1
	3 従業員に対し、業務に必要な研修や教育を適切に行っているか	3・②・1
	4 就業規則等を遵守し、雇用者の労働環境を確保しているか	③・2・1
	5 個人情報の取扱いは適切に行っているか	③・2・1
安全対策	6 危険箇所の把握及び点検を行い、利用者等の安全安心に努めているか	③・2・1
	7 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であるか（緊急連絡網や初動対応要領の作成等）	③・2・1
サービスの質	8 親切丁寧な接客に努めているか	③・2・1
	9 利用者からの苦情等に対し適切に対応しているか	③・2・1
	10 特定の者に有利又は不利な取扱いをしていないか	3・②・1
	11 サービス向上及び利用促進のための取組を行っているか	③・2・1
報告事項	12 利用者の満足度調査（聞き取りを含む）等を行っているか	③・2・1
	13 施設の破損及び異常について、速やかに対応し、市へ報告しているか	③・2・1
経営状況	14 利用者数や稼働率等は適切な水準であるか	3・②・1
	15 事業収支は妥当であるか	3・②・1
総合評価 (所感)	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的に見て利用者様からの反応は良好である。 ・定期的に来館される方が固定してきている。 ・新規開拓と来館頻度を上げる工夫が必要である。 	

【自己評価の採点基準】 「3」…優 「2」…良 「1」…可

※ 総合評価（所感）の欄には、年間を通した指定管理業務において評価できる点や改善点・反省点を踏まえた所感を記載すること。